

## 2. 条件分岐

---

### 2. 条件分岐

#### 問題1: 0との比較

問題: 整数型の変数 `x` を宣言し、その値が0より大きい場合は「xは正の数です」と出力し、0より小さい場合は「xは負の数です」と出力してください。0の場合は「xはゼロです」と出力してください。

---

#### 問題2: 3の倍数かどうか

問題: 整数型の変数 `number` を宣言し、その値が3の倍数かどうかを判定してください。3の倍数の場合は「3の倍数です」と出力し、そうでない場合は「3の倍数ではありません」と出力してください。

---

#### 問題3: 合格判定

問題: 整数型の変数 `score` を宣言し、その値が60以上なら「合格です」、それ未満なら「不合格です」と出力してください。

---

#### 問題4: 正負の比較

問題: 整数型の変数 `x` と `y` を宣言し、それぞれの値を比較します。もし `x` が `y` より大きければ「xの方が大きい」、`x` が `y` より小さければ「yの方が大きい」、`x` と `y` が等しければ「xとyは同じです」と出力してください。

---

#### 問題5: 1つ以上の条件をチェック

問題: 整数型の変数 `age` を宣言し、その値が18以上なら「成人です」、16以上18未満なら「高校生です」、16未満なら「未成年です」と出力してください。

---

#### 問題6: パスワードの確認

問題: 文字列型の変数 `password` を宣言し、その値が「1234」の場合は「パスワードが正しいです」と出力し、それ以外の値の場合は「パスワードが間違っています」と出力してください。

---

#### 問題7: `null` との比較

問題: 文字列型の変数 `str` を宣言し、`str` が `null` であれば「文字列は null です」と出力し、`null` でない場合は「文字列は null ではありません」と出力してください。

---

#### 問題8: 文字列の比較

**問題:** 文字列型の変数 `str1` と `str2` を宣言し、それぞれ「Hello」と「hello」を代入します。これらの文字列が完全に一致するかどうかを `if` 文で判定し、一致すれば「文字列が一致しています」と出力し、一致しない場合は「文字列が一致していません」と出力してください。

---

### 問題9: 年齢による料金判定

**問題:** 整数型の変数 `age` を宣言し、その値が12歳以下の場合「子供料金」、13歳以上18歳以下の場合「学生料金」、19歳以上の場合「大人料金」と出力してください。

---

### 問題10: 数値の範囲チェック

**問題:** 整数型の変数 `num` を宣言し、その値が10以上かつ20以下であれば「範囲内です」と出力し、それ以外の場合は「範囲外です」と出力してください。

---